資料７

# 在宅緩和ケアを支える体制としての医療機関等の役割分担（案）

## 在宅医療を担う機関

### 診療所

がん患者が自宅で安心して暮らすためには、症状緩和や、精神症状への対応も含めた各種ケアや医療処置に対する適切な指導、看取りの指導などの医療支援が求められる。診療所は、在宅緩和ケアの中心として、各機関と連携しながら、療養生活の支援を行う。

（在宅緩和ケアの経験豊かな診療所）

支援

### 訪問看護ステーション

がん患者の在宅療養を支えるには、医療処置のみならずケアを弾力的に提供することが必須。訪問診療に比べて、訪問看護は訪問頻度や滞在時間も長い。患者家族の言葉や気配を察して、訪問看護師は、医療とケアの双方が上手くかみ合うようなマネジメントを行う。

### 薬局

がん患者は麻薬を必要とする場面が多く、多種類の麻薬調剤に柔軟に対応すべく在庫を取り揃えておく必要がある。訪問薬剤管理指導のため、患者宅に赴き、服薬方法や副作用の説明、定期的な残薬の確認や麻薬の廃棄方法指導などを含め、トータルに薬剤を管理する役割を担う。

### 歯科診療所

がんの患者は、口腔内合併症や摂食・嚥下障害が起こることも多く、身体的・精神的負担となっている。歯科医は、苦痛の軽減と療養生活の質の向上のため、口腔ケアの充実や患者指導などの役割を担う。

### 介護（ケアマネジャー、ヘルパー、地域包括支援センター、介護施設等）

がんの患者は、病状が急速に変化する。ケアマネジャーは必要なケアニーズを具体的に把握し、ケアプランの立案、状況に応じた変更や調整について総合的に担当する。介護福祉士やヘルパーは生活援助や身体介護により、患者家族をサポートする。

### 行政機関

東京都
区市町村　等

協力・連携

### 関係団体

医師会
歯科医師会
病院協会
看護協会
薬剤師会　等

協力・連携

協力・連携

スキルアップについての支援・在宅への橋渡し

在宅療養支援窓口（※参考資料５参照）

後方支援

後方支援病院の育成

## 地域の病院

### 地域の病院

○　急変時の入院やレスパイト対応など後方支援病床としての役割
○　患者・家族への支援

### 緩和ケア病棟

○　困難な症状コントロールや終末期の療養場所など専門的な緩和ケアの提供

## 急性期病院（専門的ながん医療を担う病院）

### 拠点病院・認定病院

○　地域医療機関へ支援（コンサルテーション、症例検討会等）
○　地域の医療従事者への緩和ケア教育・人材育成（研修等）
○　地域医療機関の情報収集・情報提供
○　在宅療養患者が外来でも緩和ケアを受けられる体制の整備
○　患者・家族の相談窓口

### 拠点・認定病院以外の病院も含め急性期病院全般

○　在宅緩和ケアを目指す治療方針
○　在宅緩和ケア・介護への理解促進
○　患者・家族の視点に立った退院支援

**検討課題**

在宅緩和ケアの経験豊かな診療所について、地域の診療所への支援の役割を位置づけるか

**検討課題**

*在宅療養の後方支援の役割を担う地域の病院の具体的イメージとは（病床数の規模、一般病床か療養病床か、「緩和ケアができる」とはどのレベルか）

*後方支援の役割を担う病院の必要規模（二次医療圏に○ヶ所、区市町村に○ヶ所）

**検討課題**

*拠点・認定病院が地域連携を推進するための役割とは（スキルアップについての支援、在宅への橋渡し、後方支援病院の育成）

*現行の在宅緩和ケア支援センターの位置づけについて